

Vol.16 カブトムシのタマゴが生まれました

小中学生は夏休みですが、新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発令されているので、旅行もいけないどころか、家にこもって外にも出にくい状況かと思えます。昆虫採集なら三密を避けて外で過せるのではないのでしょうか。

昆虫で人気が高いのは、今も昔と変わらずクワガタとカブトムシのようです。特にクワガタは希少なので簡単には捕まりません。その点カブトムシならそれほど難しくはないようです。

当公園内では多数のカブトムシが確認されています。



左のカブトムシは、2月ころ園内で捕まえた幼虫を管理事務所で大事に育て上げました。



2月には乳白色で8cmくらいの幼虫でした。木の葉や枝が分解途中の腐葉土の中で、これをエサに成長し5月ころにサナギになり、6月末に成虫になりました。

7月初めに確認したときはオスばかりでした。メスを確認したのは7月半ば過ぎです。メスは土の中に潜っている時間が長いので、確認できなかったのかもしれませんが。この大部屋でオスメス一緒に飼育した結果、卵がたくさん生まれました。



卵を確認したのは8月半ばなので、成虫になって1か月くらいで卵を産むようです。卵は乳白色で3mmから5mmくらいの大きさです。

飼育している腐葉土の中をそおっと掘り起こして卵を探し出したのですが、その時に孵化した幼虫も見つかりました。卵から幼虫になるまでの期間は15日くらいと言われているので、8月初旬には最初の卵を産んでいたこととなります。



園内でも同じ状況のはずで、すでに来年の夏に向けた成長が始まっています。